

シリーズ  
NO.22

# 子育てコラム

家庭教育指導員 加瀬 桂子

「あちらを立てればこちらが立たず、だよね」

当時、幼い兄弟を育てていた私は、夜寝る時は二人の子どもたちの間に寝ていました。

二人とも母親である私に向かって話しかけてきます。右側から声がします。声のする方を向いて話を聞きます。するとまたすぐに反対側から声がします。落ち着かないこの上ないのです。子どもたちからすると母親の取り合ひになっていたのだろうと思っています。あれできちんと話が聞けていたのだろうかと思ひます。

子どもの間で寝ては、あのころが懐かしくも楽しい時間だったように思い出されます。

毎晩寝るになると『何か良い方法はないのだろうか』と考えていました。そしてある時、同じ立場で

あるだろう友人に現状を話します。

た時に出たのが冒頭の言葉なのです。「まさにその通り！」の言葉で表現してくれました。結局、うちもそうでした。

二人とも母親である私に向かって話しかけています。右側から声がします。声のする方を向いて話を聞きます。するとまたすぐに反対側から声がします。落ち着かないこの上ないのです。子どもたちからすると母親の取り合ひになっていたのだろうかと思ひます。

子どもたちが大きくなりみんな自分の部屋を持ち、寝る前に布団に入つて話をすることがなくなつて久しい身には、あのころが懐かしくも楽しい時間だったように思い出されます。

さて、もし今そんな状況だったらどうするかと考えてみました。今だったら、きっと最初に

番で聞くということを伝え

ると思います。「今日は○ちゃんの話から聞くよ」と言つてみます。不満が出るかもしれません。二人に決めさせてもいいかなとも思います。

そして後になつた子には、「次にちゃんと聞くから待つてね」と言います。そして約束は守り、「ちゃんと待っていてくれてありがとうございます」とうねの言葉を忘れずに言つてから、次にきちんと聞きます。

子どもは落ち着いて話せばいろいろな事を理解しわかつてくれます。

もし、あの時こういう会話をしていれば、この経験のなかで子どもたちは待つことや我慢すること、約束を守ることなどを学んだのではないか

と思います。

このようになすすべもない親でしたが、それでも子どもは多くの経験により成長してくれたと思います。その経験には多くの人が関わっています。子どもは親だけではなく、育てるものではなく、関わる多くの人たちによって育てられます。子どもとの生活では、たいへんだと思うこともあります。子どもは親だけでも日々たくさんあります。

お母さん一人で奮闘していっては疲れてしまします。そして、そのためには子どもに当るようなことになれば決して子どものためになりません。お母さんが元気で明るくしているのが、子どもにも家庭にも良いことですから。

私は

得たことで気持ちがすっきりして、子どもと向き合った時にもみんな同じだ、自分だけじゃないと余裕が持て、少し冷静にいられたような気がします。

お母さん一人で奮闘していっては疲れてしまします。そして、そのためには子どもに当るようなことになれば決して子どものためになりません。お母さんが元気で明るくしているのが、子どもにも家庭にも良いことですから。

## 子育て相談受付中

子育てで悩んだ時、困った時、不安になつた時など子育てに関することならどんなんことでも気軽にご相談ください。

**相談電話** 045-681-4420  
**受付時間** 月・水・木・金曜日 午前9時～午後4時半  
(水曜の午後・祝祭日を除きなくとも話すことで心が安定します)。